

Community Medicine
— 地域医療の架け橋 —

2025年夏号

第 84 号

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町2丁目1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>



耳鼻いんこう科



JCHO神戸中央病院は地域医療支援病院であるため、耳鼻いんこう科では主に手術や入院を中心に耳鼻咽喉・頭頸部の診療をしており、外来は原則紹介患者様のみとなっております。受診をご希望の方は、かかりつけ医からの紹介状をご用意の上、事前にご予約をお願いいたします。

当科は耳鼻咽喉・頭頸部の手術に幅広く対応しておりますが、なかでも耳科手術、鼻科手術は豊富な手術実績があります。耳科手術では慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎に対し、内視鏡を用いた手術（**耳科内視鏡手術**）に積極的に取り組んでおり、低侵襲でより精密な治療の提供を目指しています。また近年、鼓膜穿孔に対する新しい治療法として**リティンパ**を用いた日帰りの鼓膜閉鎖術があります。鼓膜に穴があいている状態は、聞こえの低下や感染のリスクにつながります。手術が難しいご高齢の方でも、リティンパによる鼓膜再生治療で、体に負担をかけずに鼓膜の閉鎖を目指すことができます。治療を受けられるかどうかは、専門医の診察で判断いたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。

当科では慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術も多数行っております。特に、再手術や頭蓋内・眼窩内に近い病変に対しては、より高い安全性と正確性を確保するために、**ナビゲーションシステム**を導入しています。また、当科では**アレルギー性鼻炎に対する後鼻神経切断術**も行っております。鼻の奥にある「後鼻神経」という、鼻水やくしゃみ、鼻閉に関係する神経を遮断する手術で、症状の強いアレルギー性鼻炎に対して効果が高い治療です。アレルギー性鼻炎でお困りの方は、ぜひご相談ください。

地域医療支援病院として、患者さま・医療機関の皆さまに信頼されるよう、地域全体の健康と安心を支える医療を提供してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

耳鼻いんこう科 部長 足立 直子

新任
医師



整形外科

アカイ シュンスケ
赤井 俊介

6月より整形外科で勤務させていただきます。運動器疾患を中心に神戸市北区の皆さまに貢献できるように努めますので、何卒よろしくお願いいたします。





近隣医療機関のご紹介

耳鼻咽喉科高原クリニック

〒651-1111 兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町1丁目9-1

TEL 078-594-6313

診療科目：耳鼻咽喉科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	●	●	●	×	●	◎	×
15:30～19:00	●	●	●	×	●	×	×

◎：土曜日の診療時間は午前 9:00～13:00です。
※木曜、日曜、祝日は診察をお休みしております。



高原 慎一 院長

耳鼻咽喉科高原クリニック院長の高原慎一です。当クリニックは、神戸電鉄「鈴蘭台駅」直結のベルスト鈴蘭台2階にあります。私は、神戸大学病院や関連病院などで耳鼻咽喉科の一般的な診療や手術を行ってまいりました。特に鼻副鼻腔・アレルギー領域を専門とし、慢性副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎の診療・手術を数多く行ってきました。現在は外来診療主体のため、ガイドラインに基づいた薬物療法やネブライザー

治療、舌下免疫療法など保存的治療を中心に、必要に応じて鼻咽喉腔内視鏡や副鼻腔CTによる評価も実施しております。治療経過や精査の結果、手術適応が考慮される症例については、JCHO神戸中央病院をはじめとする基幹病院に速やかにご紹介させていただき、日頃より大変お世話になっております。これからも鼻疾患だけでなく、耳やのど、頭頸部領域も含めた総合的な診療を通じて、地域の皆様のQOL向上に貢献したいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い致します。

着任のご挨拶



看護部長
くもん ようこ
久門 容子

令和7年4月1日付で看護部長に着任いたしました。歴史ある当院で歴代の看護部長が築いてこられた看護をさらに向上させるよう、今までの経験を活かし役割を果たしたいと思っています。看護部の理念は「私たちは心を込めて時代や地域のニーズに合った質の高い看護サービスを提供します」です。そして看護部が原点としている3つのH「手のぬくもりを伝える確かな技術Hand」「看護の知識と判断力Head」「優れた感性と思いやりのこころHeart」を大切に、地域の皆様に信頼され安心していただける看護の提供、また看護実践する看護師の育成にも継続して力を入れていきたいと思っています。

医療を取り巻く環境が変化する中で地域のみならずと連携を十分に行い、「顔の見える関係」を心がけ、地域の医療、介護に貢献したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



事務部長
ふじみや じろう
藤宮 仁郎

各医療機関の皆さま、日頃より当院の運営にご支援・ご指導いただき厚く御礼申し上げます。この度JCHO神戸中央病院の事務部長を拝命いたしました藤宮と申します。

もとは神戸中央病院で採用され、7年半ぶりに出身病院で勤務させて頂くことになりました。病院の経営的には昨今の診療報酬を上回る物価の高騰もあり決して順風ではない中でも、この神戸中央病院がこれからも地域にとって選ばれる病院であり続けるために、当院の理念「地域の皆様に信頼される病院として安全で質の高い医療を提供する」を念頭におきながら全職員、地域の皆様と共に歩んでまいりたいと思います。引き続きJCHO神戸中央病院をよろしくお願い致します。

つばさ2025春号に下記の通り誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

3ページ目 新任医師紹介 (誤)土屋嘉端明 → (正)土屋嘉瑞明

セミナー1部

第22回 市民医療セミナー

セミナー2部

第13回

北区在宅医療・介護セミナー

在宅でできる 栄養管理について

知っておきたい、消化器とその関連疾患の知識

大腸がん 早期発見・早期治療

消化器内科 内視鏡センター長 小川 智広 先生



この度は、足元の悪い中にもかかわらず、多くの皆さまに市民医療セミナーへご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回は大腸がんの早期発見・早期治療についてお話をさせていただきました。繰り返しになりますが、大腸がんは予防できるがんです。がん検診、内視鏡検査を受けることで予防ができます。そして、40歳を過ぎた方は、一度は内視鏡検査を受けることをおすすめします。

足の付け根、ふくらはぎでませんか?～鼠径部ヘルニア(脱腸)について～

外科部長 多田 浩之 先生



この度は市民医療セミナーへご参加いただき、ありがとうございました。当日は風雨の強い中にもかかわらず、多くの方にご参加いただき、感謝申し上げます。

今回、鼠径部ヘルニア(脱腸)についてお話させていただきました。鼠径部ヘルニアは割と身近な病気であり、周囲の方々を含め、受診していただくきっかけにいただければ幸いです。当科には女性医師も在籍しておりますので、女性の方も安心してご相談いただければと思います。

みんなで学ぼうスキンケア

看護部 副看護師長/皮膚・排泄ケア認定看護師 今村 直美 看護師



この度は市民セミナーへのご参加ありがとうございました。私がストーマケアの専門看護師であることから消化器繋がりでご参加をさせていただきました。主に皮膚トラブルのケアに関わっていることから、スキンケアについてのお話をさせていただきました。聴講された方々から「初めて保湿剤の正しい塗り方がわかりました。」と声が多くあり、もっとスキンケアについて広めてく必要があると思いました。今回の内容が皆様の日々のケアに役立ていただけたら幸いです。



次回の市民医療セミナーは令和8年9月以降の開催を予定しています。

病院代表電話の自動音声案内導入について

総務企画課

電話対応サービス向上のため、令和7年3月26日(水)より病院代表電話の自動音声による案内を開始いたします。外部からのご連絡の円滑な対応を目的としております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

音声案内に従い、ご希望の窓口の番号を押してください。

平日 8:30~17:00

- ① 外来診療と検査の予約
- ② 入院に関するご用件
- ③ 医療福祉相談室へのお問合わせ
- ④ 診断書に関するお問合わせ
- ⑤ 健康管理センターへのお問合わせ
- ⑥ その他のお問合わせ

平日 17:00~8:30/土日祝 終日

- ⑦ 救急外来受診に関するご相談
- ⑧ その他のお問合わせ

病院代表電話番号

078-594-2211



メディカル ライン

《医療機関向け》

脳神経外科 部長 桑山 一行



もっと見やすく、もっと安全に。 新血管撮影装置「Azurion7」導入

このたび当院では、最新鋭の血管撮影装置「Azurion7（アズリオン7）」を導入いたしました。脳神経外科領域における血管内治療の精度と安全性、そして迅速性を大きく向上させる装置であり、患者様にとって多くのメリットがもたらされます。

Azurion7は、フィリップス社製の高性能血管撮影装置で、従来よりも高解像度かつ低線量で血管画像を描出することが可能です。脳血管のような微細で複雑な構造も鮮明に捉えることができ、治療中の操作性が飛躍的に高まりました。これにより、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、頸動脈狭窄に対する頸動脈ステント留置術、脳主幹動脈閉塞による急性期脳梗塞に対する血栓回収療法など、当科が担う血管内治療が、より安全かつ効率的に実施できるようになっています。

脳卒中治療では「一分一秒」が脳のダメージに関わるため、Azurion7の導入により画像の鮮明化と操作性の向上がもたらされ手技時間が短縮すれば、患者様の救命率や後遺症の軽減に大きく貢献することが期待できます。

当院は、脳血管内治療専門医が3名在籍し、24時間体制で急性期脳卒中治療に対応しています。日本脳卒中学会より一次脳卒中センター（PSC）に認定されています。Azurion7の導入により、当院の急性期脳卒中の診療体制はさらに強化されました。

地域の医療機関の先生方や救急隊との連携を深めながら、質の高い脳卒中医療を提供するとともに、患者様に安心して受診いただける体制づくりを、引き続き進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

